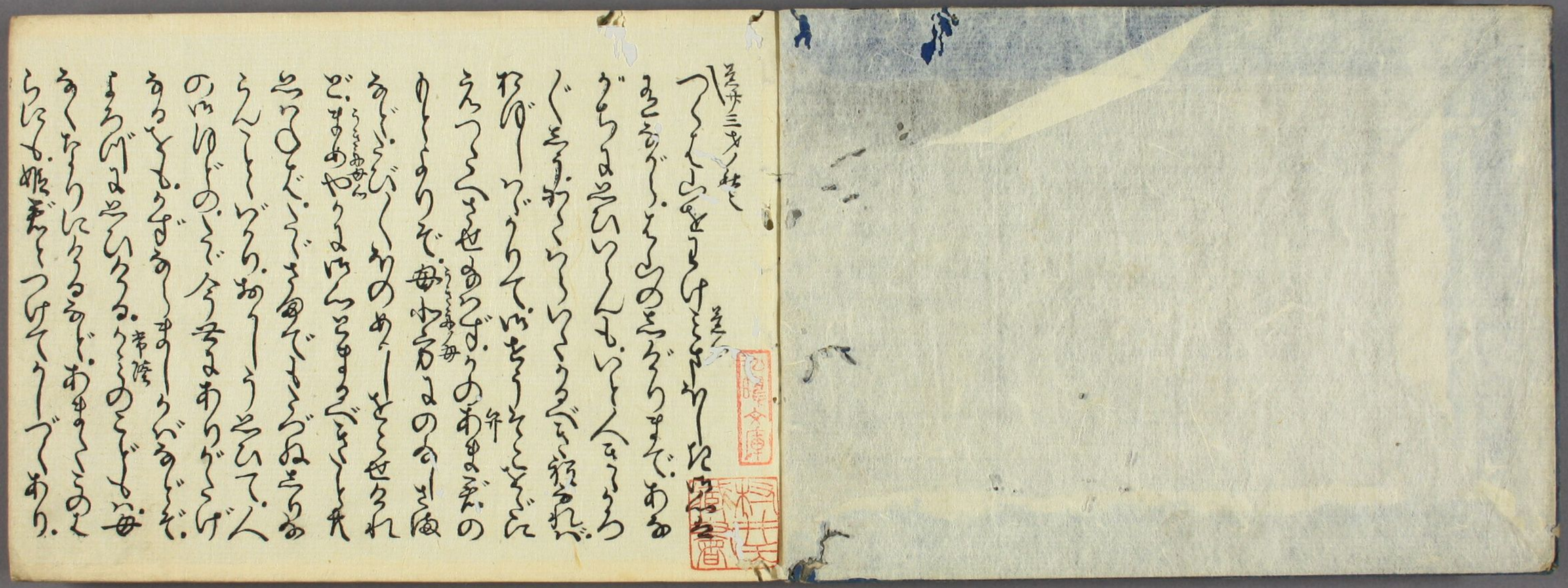
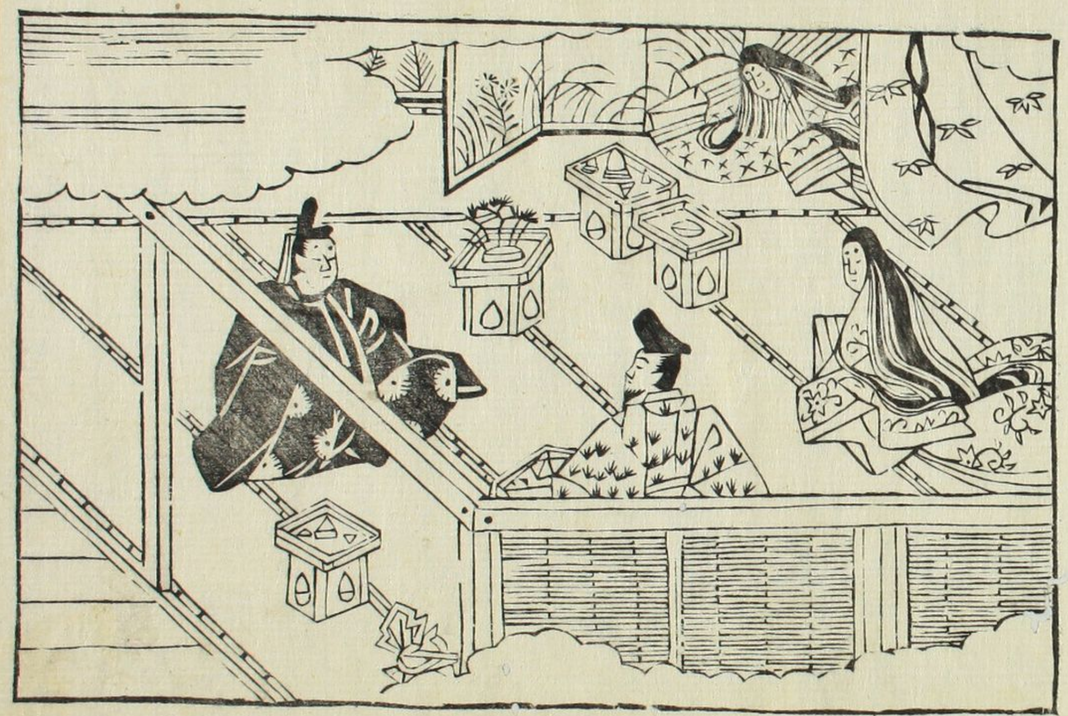
東台

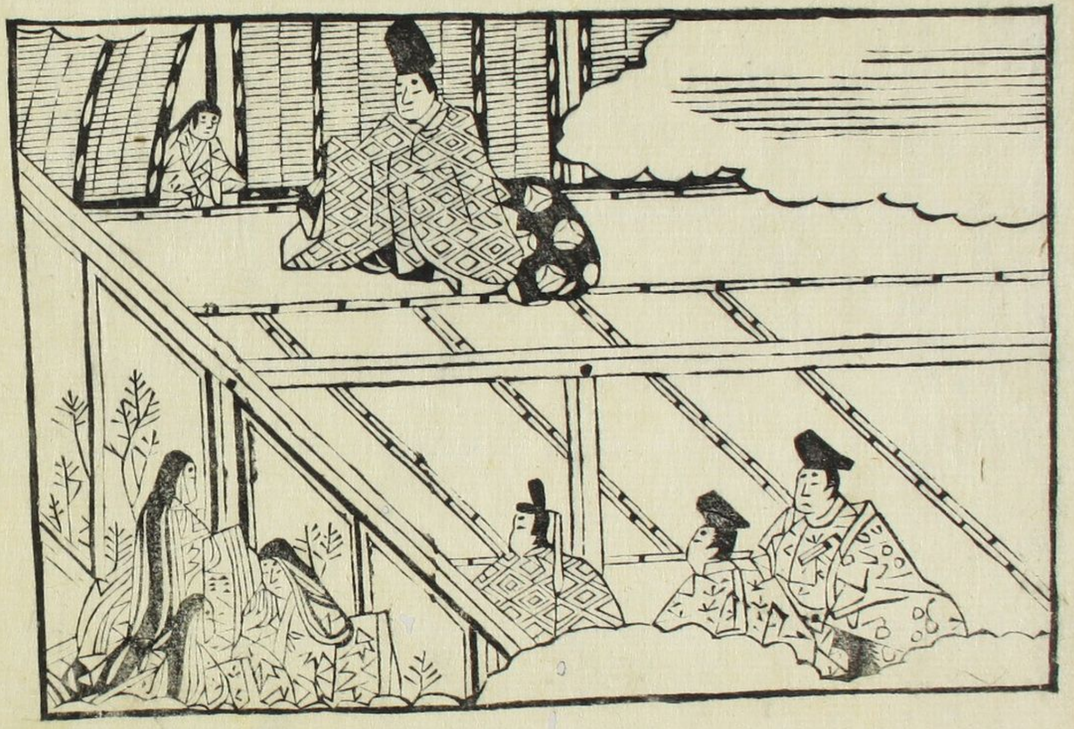
九三

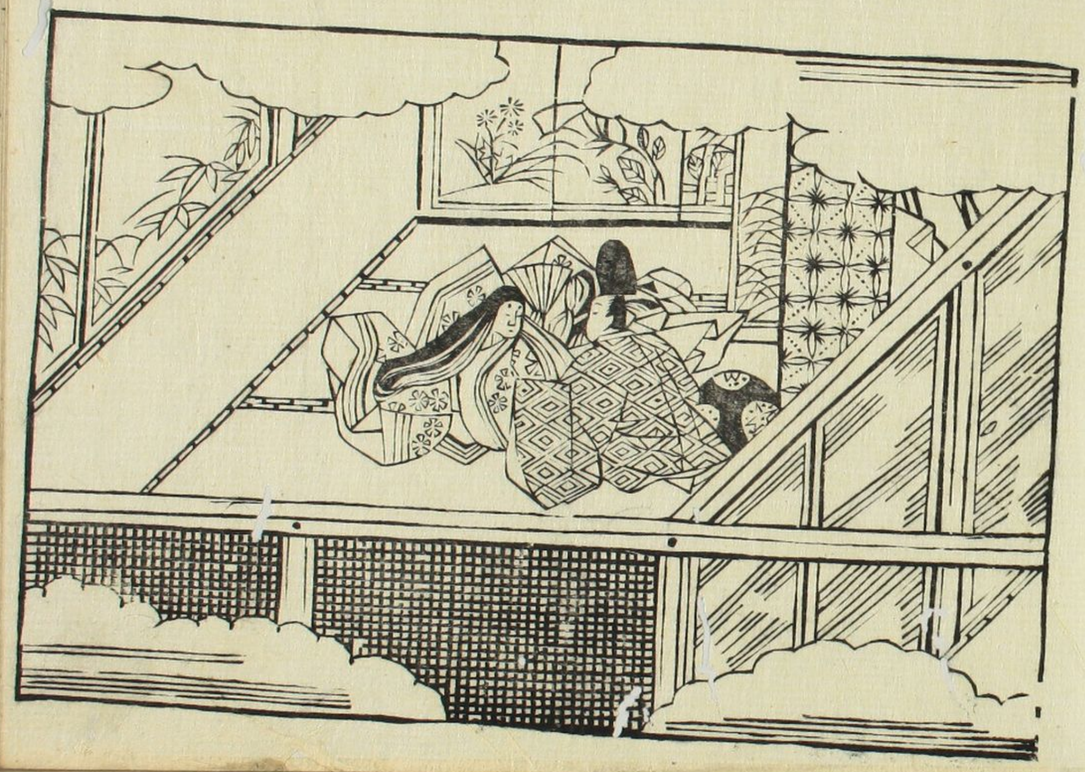


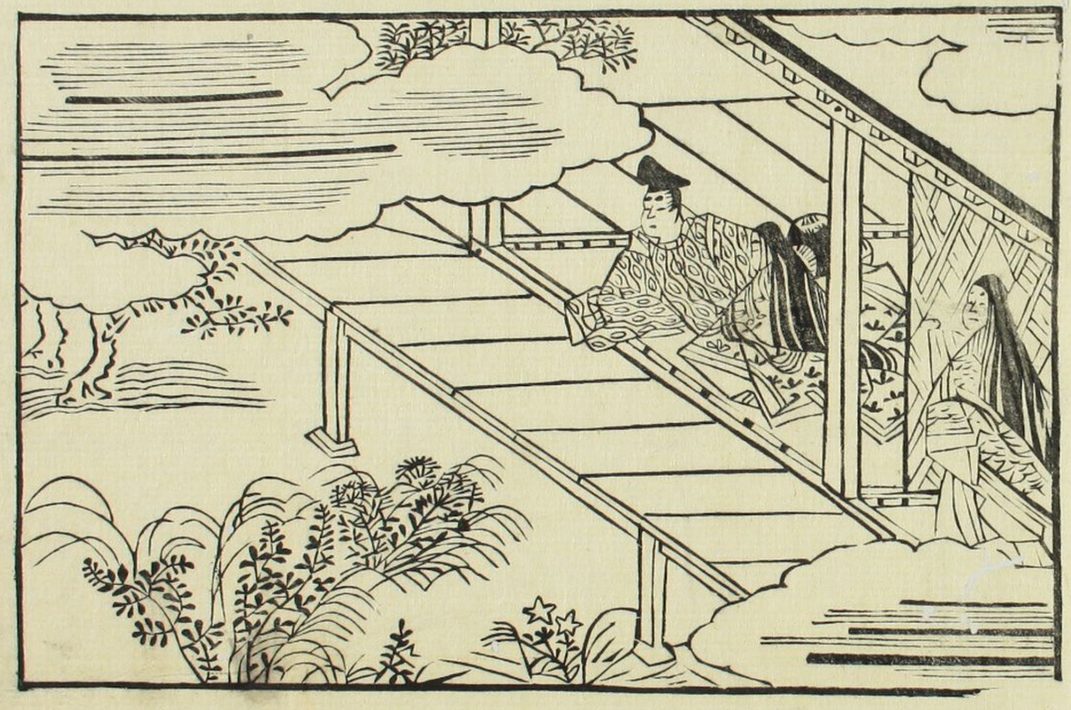
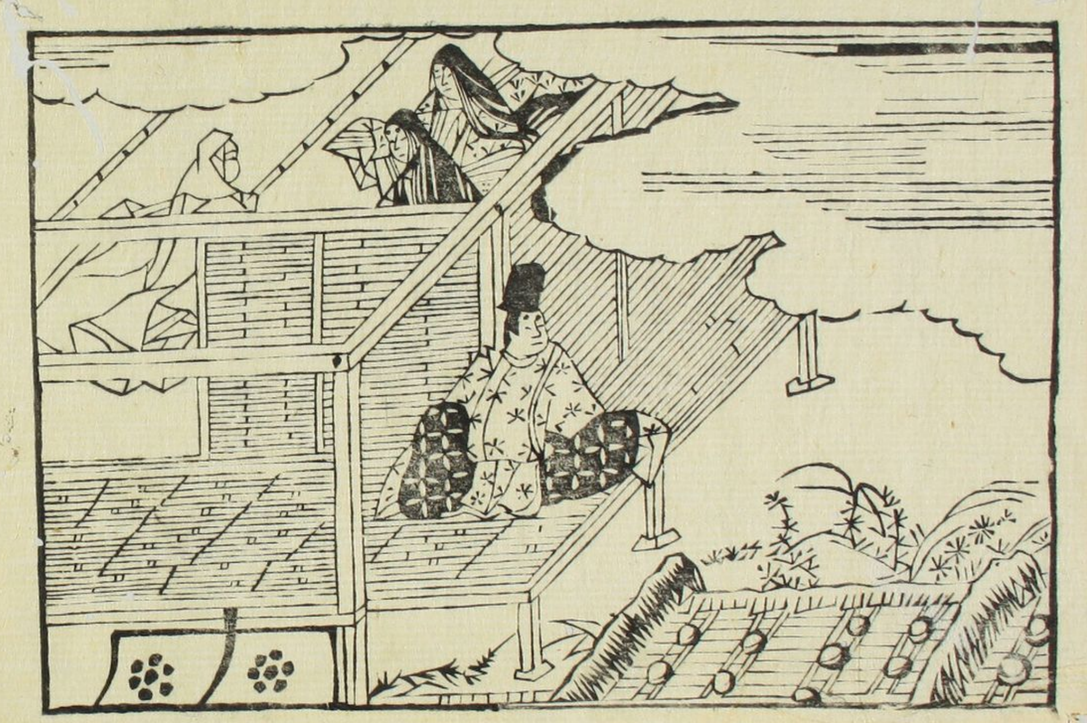
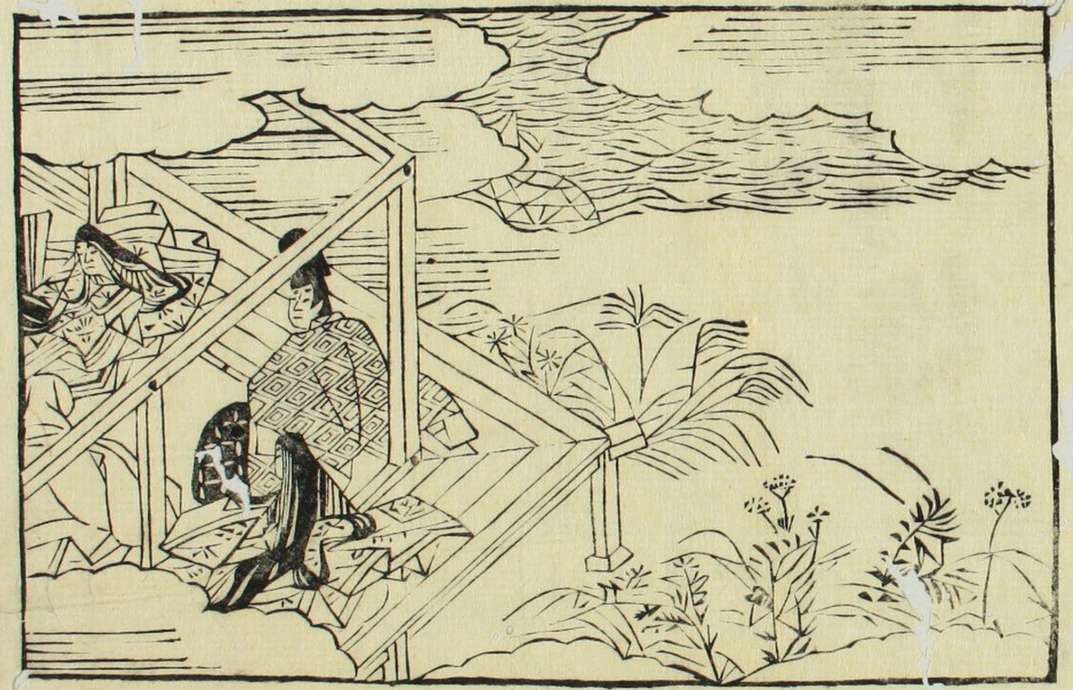
ゆがこめべく。ものうちいふ。すこし[illegible]
しるやうにくかうけのあくりおそ
ろしく。まづらいしたりのにくだかり
をぢ。すべくいとまくて。すき毎るに
んもあり。おりしたき毎ることふえの
みちをとをう。ゆゑとるんいとく
ひきくる。るをくしきあくりとも
いくぶ。いきをひまひかされて。おき
いりんどもつどひ。さうぞくまゐい
えるしずそのへつ。こしおれくる
うくあり世ねがくりかうじんとし。
まいゆくこくるしく。あそびがちに
このあるを。このけさうのきこぐち
らうくしくこそまゐべかれ。かくち
るんいこじかるるおど。おりしたく
にいひるして。ふをつくしあつる中

はこ[illegible]の第二ゆく
に。たをかねとて。いしかた二三ばう
つまのほどにくふ。ふぐせしめやかま。
ざえありといふかくらい。人まゆるき
れくまでじきしくしうしきめいく
るどをえあらぬまやかまひし。不
などもこしていとぬんびまいひま
くりかり。はくぶあまくかるこ
といふんどのゆまは。はをかねえ人がしも
めやすかるり。ふさぐまりて。ゆこひ
しりめべかるるを。人もあてありやれ
より。ゆきりて。ことくしきおれ人
とくかるあくりと。さいふべどぐ。
よしじとこひく。けいかくまいり
つぎて。さるべきおりしいおりしき
さるまゐるすどしきせなる。ふ
ひとつまこひまうけて。かくしてそ







例(中内)のふうきゆさまかなかの母を
いうまあいくさしくうしろねさま
にしまりんとすしんうしろやすしと
母ごいひをきつる抽をとしいとおし
しおぼきどいく。ましむさふふん
じくもすうしワりやうまころしれ
ゑふすてあなく。あやさきん此ゆ
くせなれん。いうでうへしよりあえん
こ。あさましはるよ抽もいえれなす。
ら(左右)遊るあまくまりあ日ふく。
あそびくらふれなてを例ゆうる
時をそくもワくりあへだふなう此
こけてやまみなぞうしさてもいうはず
きことぞ此めのこそをずまじり
かれつとそひておてまりなりぬき
ゆうなぐりなりつづくそしらつれ。

おねとうくらしていとおしがる頭に
内より人来りて。たゞやこのかゝ言
よりゆむひるやませをとこ今
いうじくおりくるやまをあふよりア
さす。右をんなさおりのゆるやみ
ゑ。まくさせんとてこん。おねいで
やいさそうひなくもあべいしをを
がましくあまりなをびやうしまく
あそをいへだ。いる(右近有)まくしうそしこ
さのびてさくめれうすをうへいと
きくふくさ人此ゆなどにこそ
あめれすうしんあんん人い我あ
くりをさへうとこぬべうありとおぼす。
(左を)来りて此彼のアよりも今すこ
しあいくしげよアなせぐうご(自)
きあべきさ女にもあらぬ此気に。